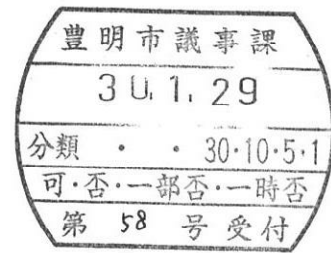


豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 近藤 千鶴



平成 29 年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
平成 30 年 1 月 18 日	別府市	ともに生きる条例について
平成 30 年 1 月 19 日	下関市	ふくふくこども館について

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

平成30年1月18日 大分県別府市 とともに生きる条例について

○制定をめざしたきっかけ

平成22年「誰もが安心して安全に暮らせる別府市条例をつくる会」から条例制定の打診があり、これに当時の市長が呼応したことで、動きがはじまった。

○条例制定の経過

平成23年 8月～9月	条例制定に関する意見募集
平成23年12月～平成24年8月	別府市障害者自立支援協議会条例制定作業部会で議論
平成24年12月27日	条例制定庁内検討委員会で条例素案の策定
平成25年 9月20日	平成25年第3回市議会定例会で原案可決成立 (全会一致)
平成26年 4月 1日	条例施行

○規定内容

前文

第1章 総則（第1条-第6条）

第2章 障害のある人への差別及び虐待をなくすための取組

第1節 差別及び虐待の禁止（第7条・第8条）

第2節 相互理解の促進（9条）

第3節 合理的配慮（10条）

第3章 差別等事案を解決するための仕組み（第17条-第22条）

第4章 親亡き後等の問題を解決するための取組（23条）

第5章 雑則（24条）

*感想

別府市は、平成27年度末現在人口の7.38%8,852の方が障害者手帳を所持していて、所持率で見ると、全国・大分県よりも高いそうです。また、平成18年度からの推移を見ると全体では548人増加しているそうです。種別ごとでは、身体障害者は290人減少、知的障害者は223人増加、精神障害者は615人増加していて精神障害者は、10年間に約2.3倍も増えているそうです。

昭和48年から身体障害者福祉モデル都市の指定を受けるなど障害福祉先進地として歩んでおられました。条例を制定したことで、当事者の方たちから、安心感がもてたとの声があるが市民の方々への浸透は難しいと感じているそうです。本市も近年は精神障害者の方が増加しています。障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合えることを提案していきたいです。



平成30年1月19日 山口県下関市 ふくふくこども館について

○施設の目的

次代を担う子どもたちを多世代で育み、子どもの健全な育成と子育てをしている家庭の支援を図る。

○施設の概要

プレイランド・交流スペース・クリエイティブランド・多目的室・こども一時預かり室・相談室

○運営形態 指定管理

○職員の配置

(1) 運営体制

オープン時から配置している実績のあるスタッフが、引き続き業務にあたり、安定した運営を行う。

※管理責任者は児童福祉施設運営に精通した職員を配置

※管理責任者の指揮のもと、共同事業体本部が強力サポート

(2) 職員の配置

業務内容に応じて必要な経験・能力等を有する適切な人材を配置

※新規雇用は地元採用を最優先に

(3) 職員の勤務体制

日々、安心して安全な運営を行えるか十分かつ適切な勤務シフトで運営

※平日は10名以上、休日は12名以上

※繁忙期はアルバイト増員。私たち共同事業体の構成員の本部等からも応援

※責任者・有資格者が必ず常駐する体制



*感想

「ふくふくこども館」は指定管理2期目に入り、来館者も目標よりはるかに多く市外や県外からも来られているそうです。立地条件が良く、近くに大型商業施設がある為自家用車での利用も多いそうです。相談室には常時2人いて予約しなくても空いていれば相談できるそうです。最近は深刻な相談が多く、その内容は市と月に1回すり合わせをしているそうです。職員に研修を受けさせて常にスキルアップをしていることに感心しました。月ごとのイベントも職員で決めているそうです。費用はあまりかけられないので、講師の選定など大変だそうですが、実績も出てきているので是非イベントをさせて欲しいといわれるようになってきたそうです。視察させていただき本市にもこのような施設があると子育て世代だけでなく、様々な世代のかたに喜んでいただけたらと思います。今ある施設を利用してできるといいと思いますが、本市に合うようにするにはどの様なやり方がいいか考えたいです。